

10月25日正午必着

明石春浦先生書



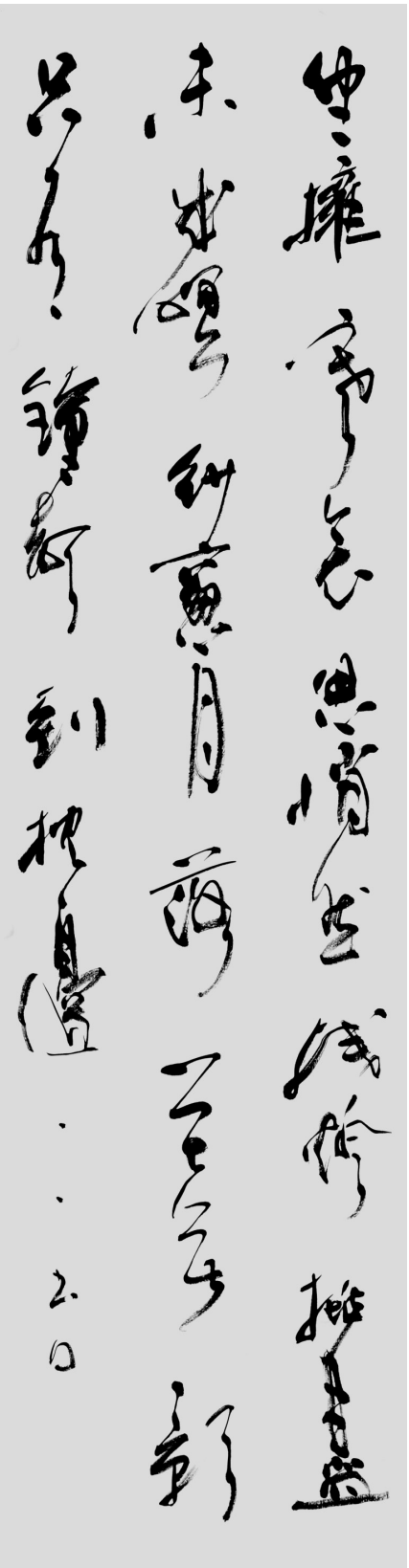
蒼峯落日寒
白日逐雲歸

萬壑秋聲起
行人猶未已

(吳承泰)

蒼峯には夕日が寒々と傾きかかり、谷間という谷間には秋声がかなでている。今しも日は雲と共に西山に没しようとしているが、路行く人の歩みはつづく。

明石幸子書



坐擁寒衾一思悄然
紗窗月落花無影

殘燈挑盡未成暝
只有三鐘聲到二枕邊

(席佩蘭)

寒衾は寒む寒むとした独り寝のしとね。紗窓はうす絹をはった窓。独り寝のさびしさを詠じた詩。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

ほのほのと 山櫻戸のありあけに 雉子なく聲す 尾より峯より (金子 薫園)



菅井松雲先生書

雲高氣靜 (曹植)

天高く氣靜かなり。

秋の形容。

露滴寒蛩咽 風高枕簟涼
歸心憑短夢 一夜幾還郷

(侯 銓)

露滴たりて寒蛩咽び、風高く枕簟涼し。
歸心短夢に憑り、一夜幾たびか郷に還る。

夜露のしたたる音にまじって虫がすだき、空わたる風に、ねやはつめたい。さめがちな夢路にわが心は、一夜、いくたびふるさとに帰るのであらう。

秋夜宿淮口 (景池)

露白草猶青 淮舟倚岸停

秋夜 淮口に宿す 景池
露白くして 草は猶お青し 淮舟 岸に倚りて停まる

風帆幾處客 天地兩河星

風帆 幾処の客 天地 両河の星

樹靜禽眠草 沙寒鹿過汀

樹静かにして 禽は草に眠り 砂寒うして 鹿は汀を過ぐ

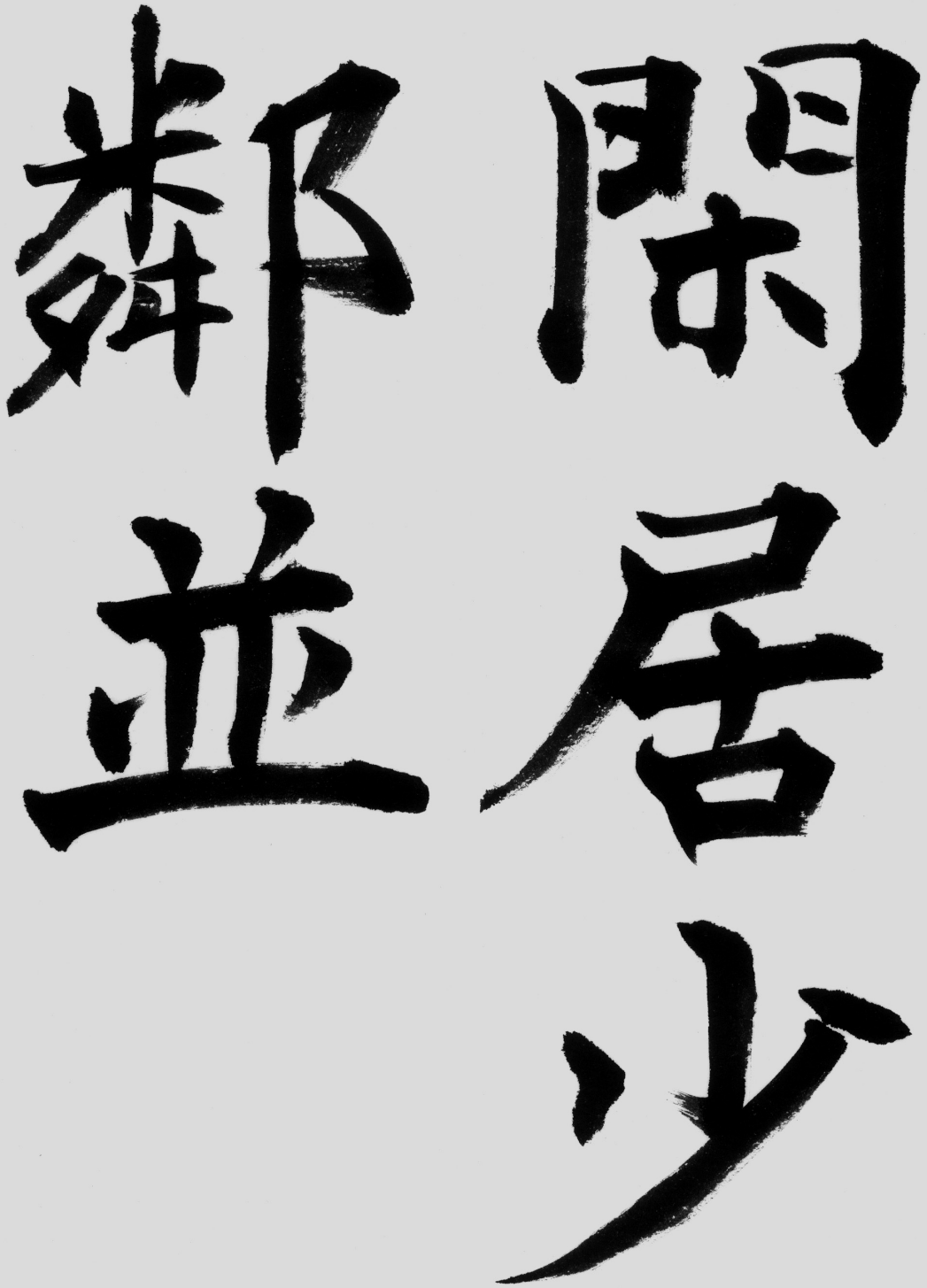
明朝誰結伴 直去泛滄溟

明朝 誰か伴を結び 直ちに去って 滄溟に泛ばん

ニコライの屋根みてあれば樹のかなた 學校のベル 鳴りて居るかな (中村 憲吉)

半紙部規定課題A

10月25日正午必着



※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

10月25日正午必着

行書

閑居少鄰並
隣並

隸書

閑居少鄰並
隣並

明石春浦先生書

草書

閑居少鄰並
隣並

行草書

閑居少鄰並
隣並

しずかなわびずまい、隣り合う家とてなく、草むす徑は、荒れるにまかせた庭へとみちびかれる。鳥は池の中の木立にやどり、僧がひとり、月の光の下に門をたたく（ひそやかなその音）。橋を過ぎてなおも存する野のけはい、山中の雲のわく石を移し来てすえてあるのが目に入る。しばらく他処に行っていました。またここにもどって来ました。風雅のちぎり、決して言に違ふことはありません。

題「李疑幽居」

賈島

閑居少鄰並

草徑入荒園

鳥宿池中樹

僧敲月下門

過橋分野色

移石動雲根

暫去還來此

幽期不負言

李疑が幽居に題す

賈島

閑居 鄰並少に

草徑 荒園に入る

鳥は宿る 池中の樹

僧は敲く 月下の門

橋を過ぎて 野色を分かち

石を移して 雲根を動かす

暫らく去りて 還た此に来る

幽期 言に負かず

(出典)

朝日新聞社刊
「三体詩」下より



吾れ其の構を駆れば、

三浦士岳先生臨書



其來趣（趣）…襲襲。即邀即時。麀鹿越越。其來大…避毆其構。其…遺遺。射其猶蜀。



清吳昌碩・臨石鼓文

吳昌碩は一八四四年（道光二十四年）に、浙江省安吉県鄞呉村の挙人の家に生まれ、一九二七年（中華民國十八年）十一月、上海の寓居で卒した。名は俊、俊卿、字は昌碩、蒼石、倉石、号は缶廬、苦鉄、石人子など数多い。

はじめ父の辛甲から教育を受け、十歳の頃には隣村の私塾に通い学んだ。十七歳の時、太平天国の乱によって一家は離散、彼は湖北省・安徽省を転々として難を逃れ、五年後の二十一歳の時ようやく故郷へ戻った。二十二歳の時、試験を受けて「秀才」の資格をとったが、官界にはあまり興味をもたなかったという。二十九歳のとき故郷を出て、杭州・蘇州・上海に遊学し、多く文人から影響を受けた。詩・書・画・篆刻ともに精通し、「四絶」と称賛され、清代最後の文人といわれた。

石鼓文は中国最古の石刻で、太鼓状の石に刻されているのでこの名がある。高さ約九〇センチ、直径六〇センチほどで、全十石から成る。小篆と古文の両面を備えており、吳昌碩の臨書は原本の石鼓文よりさらに縦長になっている部分が多くある。特に脚部にそれを見ることが多く、小篆に近い姿になっているといわれており、原本と比較しながらの臨書も重要な臨書姿勢ではないか。

この臨書は七十五歳の時のもので、技術的に完成した傑作といわれている。（春濤）

10月25日正午必着



(半折し)

穆如清風

(穆として清風の如し)

(「詩経」大雅・烝民)

清風のように和らぎ穏やかである。

△做書参考作品▽

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。



吾に(即き)時に即く。麀鹿は越々として、其の来たるや大いに(次ぐ)。吾れ其の樸を駆れば、其の...

10月25日正午必着

教育部毛筆



とう

めい

中学一年

雨宮春聲先生書



む

げん

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



よ

みせ

小学五年

榎戸春龍先生書



ほう

こく

小学六年

藤井良泰先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

10月25日正午必着



めい
名

せい
声

小学三年

藤田幸春先生書



は
羽

ごろも
衣

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

い も 小学一年・幼年



森戸春濤書

さん かく 角 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

大きな木がある	村はずれの神社に
---------	----------

小学五年

高原のかれんな花	は満月の夜にさく
----------	----------

小学六年

永遠の平和を築くた	めに力を合わせます
-----------	-----------

中学

万物はみな多少の優	れた特性をもっている
-----------	------------

一般(級位)

わが門の草に残れるよへの雨の露しげくして富士は初雪(若山牧水)	霧しげくして富士は初雪
---------------------------------	-------------

一般(段位)

わが門の草に残れるよへの雨の露しげくして富士は初雪(若山牧水)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

か	す
ぜ	す
に	き
	が
ゆ	
れ	あ
る	き

幼年

ぼ	犬
う	も
に	あ
	る
あ	け
た	は
る	

小学一年

な	わ
	た
白	が
い	し
雲	の
だ	よ
	う

小学二年

い	森
て	林
道	を
を	き
つ	り
く	ひ
る	ら

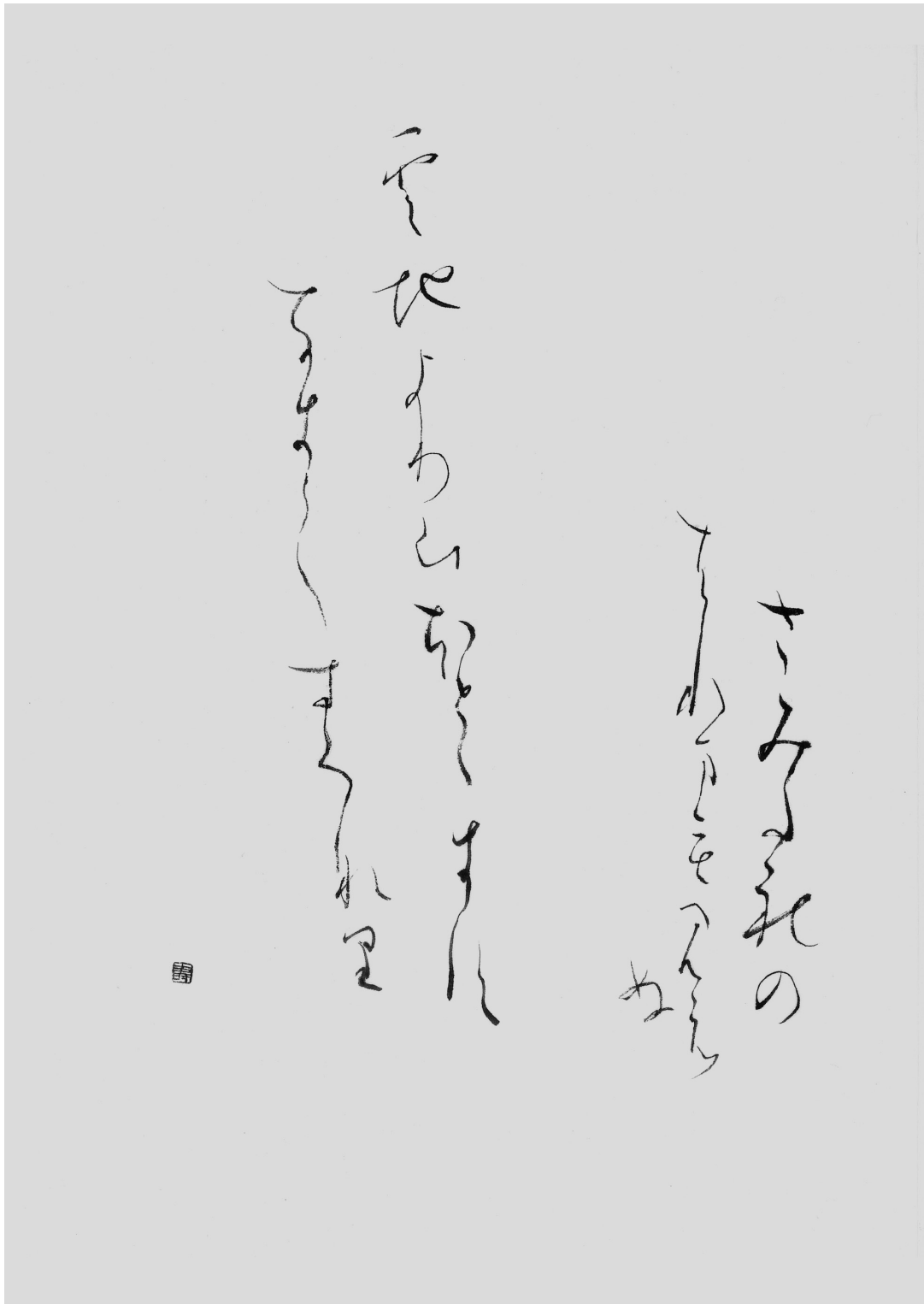
小学三年

が	風
み	が
の	な
よ	く
う	湖
に	面
光	が
る	か

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



さみだれの はれまも見えぬ 雲地くもぢより 山ほととぎす なきてすぐなり
多礼者万毛 利本 支須奈支氏 那里 (山家集・西行)

岩本景楓先生書

第16回玄和全国競書大会

2000年から実施しております玄和全国競書大会も、お陰様をもちまして昨年第15回を終了することが出来ました。各回共漢字、仮名、調和体、臨書と様々な書風・書体の作品の応募があり、学生部におきましても、のびのびとした意欲に満ちた作品が多数出品され、玄和誌上に花を添えていただきました。まことに有り難うございました。

さて、本年も引き続き第16回玄和全国競書大会を開催する運びとなりました。正しい書写教育と書芸術の普及を目的とするという理念のもとに、質量共にさらに充実するべく特別賞や賞品の内容につきまして検討を重ねてまいりました。

幼年から一般まで会派書風にこだわらずどなたでも出品できるこの競書大会に、多くの皆様のご参加をいただきまして、日頃の学書の成果をお計りいただきますようご案内申し上げます。

一般部規定

1)資格	高校生～一般
1)部門	半紙部 条幅(半折)部
1)作品	漢字・かな・調和体及び臨書 (半紙・条幅とも用紙は縦長に使用)
1)課題	内容自由。 半紙部・条幅部それぞれ1人5点以内
1)出品料	半紙 1点 ¥ 700 条幅 1点 ¥ 1500
1)審査	半紙部・条幅部に分けて審査する。実施要項の規定に適合しない作品は審査の対象としないので注意してください。

学生部規定

1)資格	幼年～高校生
1)作品	各学年とも半紙使用。(縦書き) 作品には必ず学年氏名を記入のこと。
1)課題	内容自由。1人 5点以内
1)出品料	半紙 1点 ¥ 500
1)審査	審査は各学年に分けて行う。

1)賞	審査の結果、優秀作品に以下の賞を贈る。 玄和書道会賞(賞状・賞品) 春浦賞(賞状・賞品) 玄和書道会会長賞(賞状・賞品) 毎日新聞社賞(賞状・賞品) 審査員長賞(賞状・賞品) 振興賞(賞状・賞品) 秋桜賞(賞状・賞品) 白鷺賞(賞状・賞品) 推薦(賞状・賞品) 特選(賞状・賞品) 準特選(賞状・賞品) 秀作(賞状・賞品) 佳作(賞状・賞品) 褒状(賞状・賞品)
-----	---

※振興賞…ご協賛各社の賞

- ◆出品手続 「玄和」誌ご購入の有無にかかわらず、どなたでもご応募頂けます。
団体出品の場合は、出品者名簿をお送りいたしますので、事務局までご請求ください。
個人出品の場合は、直接事務局まで作品と出品料をご送付ください。なお、高校生の方は学生部、一般部のどちらにも出品出来ます。
- ◆発表 審査終了後賞状・賞品と共に成績を通知する。(1月完了予定)
「玄和」誌上にて上位の成績を発表し、更に、優秀な作品は写真を掲載。(2月号予定)
- ◆団体賞 成績優秀の団体には以下の賞を贈る。
最優秀団体賞 優秀団体賞 団体奨励賞
- ◆一般部審査員 西 墨濤・三浦士岳・明石幸子・雨宮春聲・窪田華岳・菅井松雲・森戸春濤・藤井良泰
- ◆学生部審査員 赤石桂舟・朝川龍雲・新井春廣・猪股永春・榎戸春龍・遠藤美代子・坂上司泉・桜井青浦
中村岳萩・林 光浦・林 采園・林 北雲・屋間翔雲・藤田幸春・古澤圭子・細谷春誠
堀内千恵
- ◆出品締切 平成27年11月4日(水) 必着 (学生部・一般部とも)
- ◆送り先 作品は下記までお送りください。出品料は、現金書留か郵便為替でお願いします。また、作品は返却致しませんのでご了承ください。詳細は事務局までお問い合わせください。(火～金)
〒356-0003 埼玉県ふじみ野市大原1-3-6 玄和全国競書大会事務局 ☎049-261-2538

主催 玄和書道会・(有)玄和
後援 毎日新聞社
協賛 一休園・越前屋・開明・鷺毛堂・キョー和・呉竹
光雲堂・清秘蔵・仿古堂・墨運堂